

平成 30 年度 第 3 回岩沼市防災会議 議事録

開催日時／平成 31 年 3 月 20 日（水）午後 1 時 30 分～午後 1 時 58 分

開催場所／岩沼市役所 1 階大会議室

出席者 / 会長 1 名、委員 19 名、代理 2 名

| | | | |
|----|-------------------------|--------|-----|
| 会長 | 岩沼市長 | 菊地 啓夫 | |
| 委員 | 東北農政局 宮城県拠点 総括農政推進官 | 武田 久信 | |
| | 東北地方整備局 仙山河川国道事務所 所長 | 奥田 秀樹 | |
| | 東京航空局 仙台空港事務所 空港長 | 伊藤 聡司 | |
| | 第二管区海上保安本部 宮城海上保安部 次長 | 渋谷 峰雄 | 代 理 |
| | 陸上自衛隊第 22 普通科連隊 重迫撃砲中隊長 | 辻 一城 | |
| | 宮城県仙台地方振興事務所 副所長 | 佐々木 秀夫 | 代 理 |
| | 宮城県仙台保健福祉事務所 所長 | 三浦 正之 | 欠 席 |
| | 宮城県仙台土木事務所 所長 | 平塚 智 | 欠 席 |
| | 宮城県亘理農業改良普及センター 所長 | 山村 孝志 | |
| | 岩沼警察署 署長 | 蘓武 正裕 | |
| | 東日本旅客鉄道株式会社岩沼駅 駅長 | 清野 徹也 | 欠 席 |
| | 東日本電信電話株式会社宮城事業部 設備部長 | 米沢 忠大 | 欠 席 |
| | 東北電力株式会社岩沼電力センター 所長 | 二上 貴文 | 欠 席 |
| | 株式会社ミヤコーバス名取営業所 所長 | 齋藤 仁 | 欠 席 |
| | 一般社団法人岩沼市医師会 会長 | 森 学武 | 欠 席 |
| | 社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会 会長 | 三浦 一郎 | 欠 席 |
| | 岩沼市民生委員児童委員協議会 会長 | 森 武雄 | |
| | 岩沼市教育委員会 教育長 | 百井 崇 | |
| | 岩沼市消防本部 消防長 | 菅原 敬 | |

| | | |
|--------------------|-------|-----|
| 岩沼市消防団 消防団長 | 大村 昇 | 欠 席 |
| 岩沼市副市長 | 鈴木 隆夫 | |
| 岩沼市総務部長 | 大友 彰 | |
| 岩沼市健康福祉部長 | 高橋 広昭 | |
| 岩沼市市民経済部長 | 菅井 秀一 | |
| 岩沼市建設部長 | 星 幸浩 | |
| 岩沼市教育委員会教育次長 | 高橋 弘昭 | |
| 岩沼市水道事業所長 | 森 康雄 | |
| 岩沼市総務部防災課長 | 野口 太郎 | |
| 東北大学災害科学国際研究所 教授 | 丸谷 浩明 | |
| 岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会 会長 | 郷内 妙子 | |

説明等のために出席した者の氏名

| | |
|---------------|-------|
| 総務部防災課課長補佐兼係長 | 森 俊幸 |
| 総務部防災課主査 | 向井 勲 |
| 総務部防災課主事 | 鈴木 健之 |
| 総務部防災課主事 | 山田 雄貴 |

会議の公開・非公開／公開

傍聴者／なし

議事次第

- 1 開 会
- 2 出席者紹介
- 3 会長（岩沼市長）あいさつ
- 4 議 事
岩沼市地域防災計画（案）について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

配布資料

- ・平成 30 年度 第 3 回岩沼市防災会議 次第
- ・平成 30 年度 第 3 回岩沼市防災会議出席者名簿
- ・岩沼市地域防災計画（案）について（資料 1）
- ・岩沼市地域防災計画パブリックコメント実施結果について（資料 2）

会議経過

1. 開 会（進行 総務部防災課 山田主事）

2. 出席者紹介

平成 30 年度第 3 回岩沼市防災会議出席者名簿に基づき、出席者を紹介した。

3. 会長（岩沼市長）あいさつ

本日は大変お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。加えて年度末でございまして本当にありがとうございます。当防災会議も今回で 3 回目となります。これまで昨年 8 月に 1 回目を開催し、いろいろなご意見をいただきました。それを踏まえて 12 月に 2 回目を開催し、今回、大筋で固まったことから会議を開かせていただきました。

災害に対する備えはそれぞれ皆さんも十分お考えいただき、取組んでおられると思いますが、こと岩沼市にあっては震災の影響等もあり、平成 25 年 3 月以降、地域防災計画の見直しができいていませんでしたが、皆様方の力添えで、素案としてまとめることができました。昨年 8 月から今日までの間も全国各地で様々な災害が起きています。災害と言っても津波とか地震、洪水、最近は熱波まで、気温の高いことまでが災害の一つに数えられるようになりました。市としても対応が難しく、その意味では、地域防災計画も様々な角度から見直しを迫られるだろうと思っています。

また、市には土砂災害警戒区域が多数あります。県でいろいろと調査が進み、まもなく指定が拡大される。現在は 50 か所ありますが、これがいずれ約 100 か所になる見込みのため、十分備える必要があります。

災害に関しては、先月 26 日の新聞記事にもありました、政府の地震調査委員会が太平洋沿岸の地震の予測と確率を発表した。超大規模な災害、いわゆる東日本大震災クラスも予測されていて、その前に宮城県沖地震、これはマグニチュード 7.4 クラスも公表されました。我々としては東日本大震災を乗り越えここまで来た中で、「大規模災害の可能性はまだある」と気持ちを引き締めたところ です。今後想定される災害については、ひとつひとつクリアする以外にないだろうと思っています。

避難行動要支援者の対応については、個人情報もありなかなか思うように進んでいない状況です。避難行動要支援者名簿については、法律で作成するように義務付けされましたが、名簿掲載にあたり本人の同意が求められることもあり、また、いざという時にどこまで対応できるのかといった不安もあります。この点については、今回の地域防災計画の策定が終わった後も引き続き名簿の作成に力を入れ、万が一に備えていくとして、その辺のプログラムもこれから考えていくこととしております。本日は、よろしくお願ひします。

4. 議 事

岩沼市防災会議規程第 3 条第 2 項に基づき岩沼市防災会議会長の菊地市長が議長とされた。

岩沼市地域防災計画（案）について

資料 1、資料 2 に基づき、事務局（森防災課長補佐兼防災係長）から岩沼市地域防災計画（案）について説明し、原案の通り、岩沼市地域防災計画（案）が承認された。

質疑応答

特になし

5. その他

事務局（森防災課長補佐兼防災係長）から、岩沼市防災会議を平成 31 年度以降も継続開催することについて、説明を行った。

質疑応答

特になし

【議長】

以上で本日の議事を終了する。

6. 閉 会